

大分工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	防災工学
科目基礎情報						
科目番号	R03C521		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	都市・環境工学科		対象学年	5		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	(教科書) 太田敏一・松野 泉, 「防災リテラシー」, 森北出版／(参考図書) 岡田恒男・土岐憲三編著, 「地震防災のはなしー都市直下地震に備えるー」, 朝倉書店					
担当教員	山本 大介					
到達目標						
(1) 防災全般について理解し, どのような防災対策をとるべきか, また, 災害時にとるべき避難行動や災害が私達の社会に及ぼす影響について理解できる。(定期試験) (2) 自主的, 継続的に学習できる。(課題)						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		防災全般について理解し, どのような防災対策をとるべきか, また, 災害時にとるべき避難行動や災害が私達の社会に及ぼす影響についてとてもよく理解できる.	防災全般について理解し, どのような防災対策をとるべきか, また, 災害時にとるべき避難行動や災害が私達の社会に及ぼす影響について理解できる.		防災全般について理解し, どのような防災対策をとるべきか, また, 災害時にとるべき避難行動や災害が私達の社会に及ぼす影響について理解できていない.	
評価項目2		自主的, 継続的にとてもよく学習できる.	自主的, 継続的に学習できる.		自主的, 継続的に学習できていない.	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育目標 (B2) JABEE 1(2)(g) JABEE 2.1(1)⑤						
教育方法等						
概要	本科目では, これまでの主な自然災害および我が国の立地条件を学習し, 地震, 津波, 台風や豪雨などの仕組みを学ぶ. また, ライフラインの復旧・対策や災害に関わる情報を学ぶ. 最終的には, 防災全般について基礎的な内容を理解する. なお, 本科目は学修単位科目である. (科目情報) 教育プログラム第2学年 ◎科目 RM科目					
授業の進め方・方法	教科書およびスライドにより説明し, 課題を通して理解を深める. (事前学習) 授業計画を確認し, 各自で必要な事前学習を行うこと.					
注意点	(履修上の注意) 本科目は学修単位であり, 2単位の修得には授業時間外の学修等とあわせて90単位時間の学修が必要な科目である. 本科目では授業時間外の学修として課題を課す. 本科目は学修単位科目であるので, 事後学習として課題を課す. 課題の提出率は単位修得の条件に影響するため十分に注意すること. (自学上の注意) 常に災害・防災関係の情報には関心を払い情報を集めるように心がける.					
評価						
(総合評価) 総合評価 = (2回の定期試験の平均点) ×0.8 + (課題の平均点) ×0.2 (単位修得の条件) 全課題の60%以上の提出を単位修得の条件とする. (再試験について) 総合成績が60点未満の学生に対して行う.						
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	災害に立ち向かうために これまでの主な自然災害のまとめおよび我が国の立地条件		これまでの主な自然災害および我が国の立地条件が理解できる.	
		2週	災害とは		阪神淡路大震災と東日本大震災の被害の実態とそれへの対応について理解できる. 災害とは何かを理解できる.	
		3週	地震		地震のメカニズム, 被害の実態, 対応方法が理解できる.	
		4週	津波		津波のメカニズム, 被害の実態, 対応方法が理解できる.	
		5週	台風と豪雨 (1)		台風と豪雨のメカニズム, 被害の実態, 対応方法が理解できる.	
		6週	台風と豪雨 (2)		台風と豪雨のメカニズム, 被害の実態, 対応方法が理解できる.	
		7週	火災		火災のメカニズム, 被害の実態, 対応方法が理解できる.	

		8週	ライフライン	震災によるライフラインの被害やその後の災害への備えについて理解できる。
	4thQ	9週	後期中間試験	
		10週	後期中間試験の解答と解説 ライフライン	わからなかった部分を理解する。 震災によるライフラインの被害やその後の災害への備えについて理解できる。
		11週	災害情報	災害時に役立つ災害情報の種類と目的および災害情報の利用方法や流言，風評被害について理解できる。
		12週	復興計画および復興まちづくり	復興計画および復興まちづくりを理解できる。
		13週	南海トラフ巨大地震への備え	南海トラフ地震のメカニズム，被害想定，対応方法が理解できる。
		14週	エネルギーと地球温暖化対策，原子力とエネルギーマネジメント	エネルギーと地球温暖化対策，原子力と災害などについて理解できる。
		15週	後期期末試験	
		16週	後期期末試験の解答と解説	わからなかった部分を理解する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	課題・発表	合計
総合評価割合	80	20	100
基礎的能力	20	10	30
専門的能力	60	10	70
分野横断的能力	0	0	0